

77 GROUP SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS **サステナビリティへの取組み**

「七十七グループのマテリアリティ」の特定

七十七グループはサステナビリティへの取組みを強化する観点から、行内アンケートの実施やサステナビリティ委員会での議論、社外取締役等との意見交換等を踏まえ、マテリアリティを特定いたしました。

七十七グループのマテリアリティ

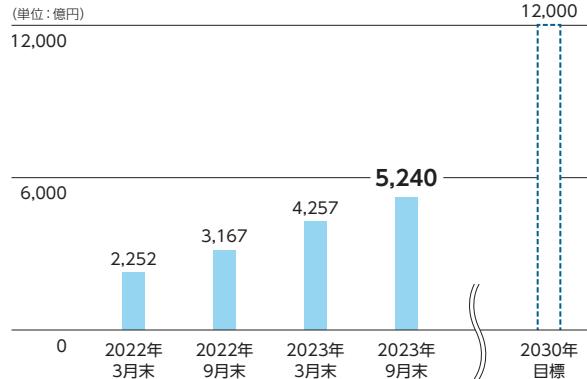
七十七グループは、創業より受け継がれる「地域の繁栄を願い、地域社会に奉仕する」という行是の理念に則り、グループ全体で重要課題(マテリアリティ)の解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指します。



サステナブルファイナンスへの取組み

お取引先や地域のサステナビリティの取組みを支援する観点から、各種商品のラインアップを拡充しているほか、サステナブルファイナンスのKPIを設定しております。

サステナブルファイナンス累計実行額



再生可能エネルギー
関連融資実行実績 **131件 / 495億円**

累計実績(2021年4月~2023年9月末)

ESG投資実績 **136件 / 1,082億円*1**

累計実績(2021年4月~2023年9月末)

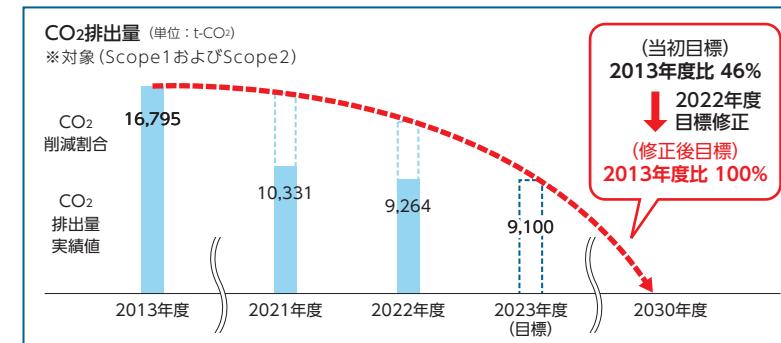
グリーンボンド	25件 / 64億円
グリーンローン	24件 / 151億円*2
サステナビリティボンド	18件 / 111億円
ソーシャルボンド	42件 / 561億円
サステナビリティ・リンク・ボンド	5件 / 59億円
サステナビリティ・リンク・ローン	22件 / 136億円*2,3

*1 グリーンボンド等の債券は新発債および既発債の投資実績となります。
*2 米ドル建については、2023年9月末当行仲値(1USD=149.58円)にて換算
*3 サステナビリティ・リンク・ボンドを裏付債券とする債券パッケージローンを含む。

カーボンニュートラルの実現

七十七グループでは、気候変動への対応の更なる強化を図るため、「Vision 2030」および「SDGs実践計画」においてKPIを設定していた「CO₂排出量(2013年度比削減割合)」の2030年度目標に関して、従来目標を見直し、「2030年度までのカーボンニュートラル実現を目指す」といたしました。

当行サプライチェーンを含めたCO₂排出量であるScope3を算出し、2023年8月に発行した統合報告書において、初めて開示いたしました。Scope3カテゴリ15(投融資先)の算出結果に基づき、投融資先におけるCO₂排出量の削減に向けた対話と支援を継続してまいります。



(Scope1、2、3)

分類	排出量(単位t-CO ₂)
Scope1	1,185
Scope2	8,079
Scope3合計	10,013,332
カテゴリ6(出張)	524
カテゴリ7(雇用者の通勤)	1,212
カテゴリ15(投融資先)	10,011,596

「ESG地域金融促進事業」への採択

当行は、環境省が実施する「令和5年度ESG地域金融促進事業*1」(以下、「本事業」)の支援先金融機関として採択されました。

採択された事業

「宮城県沿岸部におけるブルーエコノミー*2の構築」

宮城県内における漁業および水産加工業では、海水温上昇等に伴う漁獲高の変化等、気候変動による事業への影響が発生しています。このような状況等を踏まえ、当行では、本事業による支援を活用し、地方公共団体や事業者さま等とも連携しながら、漁業および水産加工業のお客さまのサステナビリティ向上に向けた取組みを実施いたします。

*1 本事業は、環境省がESG地域金融実践の先進的な事例を創出することを目的に、環境・社会に対するインパクトの創出や地域の持続可能性の向上等に資する取組みを行う地域金融機関等を支援するものです。
*2 「海洋経済」と訳され、海や沿岸環境を活用した経済活動を指します。



2023年10月には、業界最大級のイベントである「東京サステナブルシーフードサミット」に参加し、銀行と水産企業の協働に関するパネルディスカッションに登壇いたしました。